

「宮崎県防災の日フェア」に出展

～「揺れは小さくても1分以上続く場合は、津波が来る可能性、迷わず避難」を啓発～

日本損害保険協会九州支部宮崎損保会(会長：鍋山 大輔 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 宮崎支店長)では、5月26日(日)に宮崎市内の商業施設で開催された宮崎県危機管理局主催の「見て、聞いて、体験しよう! 宮崎県防災の日フェア」にブースを出展しました。

本イベントは、「より多くの人に防災に触れてもらい、興味関心を持ってもらうこと」を目的としています。

宮崎県沿岸部では南海トラフ地震により津波被害を受ける可能性が高いことから、宮崎市やその近郊の津波ハザードマップを使用して、来場者にご自宅や職場等の津波リスクを確認いただき、公共的な保険制度である地震保険についても説明しました。

当ブースでは、津波ハザードマップ上でご自宅等の場所を確認頂き、津波浸水の想定される区域に住宅等がある方に対して津波リスクをご説明し、逃げる方向や避難場所の事前の確認、早期避難の重要性など、地震リスクへの備えの必要性に関する理解をより一層深めていただきました。参加者からは、「小さな揺れでも1分以上揺れている場合には、油断をしてはいけないと思った」や、「姉の住宅が津波のリスクがあると知ったので、備えるように話したい」といった声がありました。

宮崎損保会では、今後も行政や関係団体と連携し、自然災害リスクを的確に認識いただき、必要かつ十分な地震や風水害に備える保険等に関して普及・啓発活動を行っていきます。



説明の様子



出展したブース



ブース会場の様子



災害支援洗濯車